H.25

一月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

思い通りには行かないもの、と心得よう

人間は、自分の不幸は嫌・幸せになりたいと願うものです。日常生活で、苦悩・ストレスを溜めないためには『無理をしない』こと・原因と結果の法則（因果の道理）を見据えることです。病気になるのは、働き過ぎ・ストレスが溜まったなど、様々な原因があります。生きていると、時には病気にもなるというのが因果の道理です。

親鸞聖人の他力思想は『自然（有るがまま）に生きる』ことで、自力の計い（自分で考えて処置）の心を打ち消し・仏力＝他力の働き・自然の法則に任せる姿勢です。が、私達は『有るがままに生きる』のではなく、『自分の思うがままに生きたい』の願望が強く、これを『我がまま』と言うのです。思い通りに生きたいとの欲望から、『嫌な雨や・今日は悪い日だった』となるのでしょう。

『思い通りになる事が本当の幸せではない』と気づき、今の状況に任せて、『有るがまま』の人生を生きること、それが自然な生き方・苦悩の無い生活なのです。